

2011年実践的防災まちづくりコーディネーター養成講座

《講義録5限目》

投稿者:「防災塾・だるま」中村 俊光



- ◆開催月日:2011年10月27日(木)
- ◆開催時間:14:30~16:30
- ◆開催場所:KUポートスクエア 14F

《講座メインテーマ》東日本大震災から学ぶ防災(減災)まちづくり

◆本日のテーマ◆クロスロード・ゲーム(全員が発言し主張する)

「クロスロード」＝「岐路」でそれぞれが重要な判断を「YES」「NO」で表明するゲームを通じて体験し、災害時の“あらかじめ正解のない様々な状況や問題”にどう対処するかを学ぶ。



《講師》森 清一氏
神奈川県秦野市
はだの災害ボランティア
ネットワーク副代表



- ◆「クロスロード」とは
阪神・淡路大震災のときの「実話」をもとに、文科省の研究プロジェクトチームが作成した「カード教材」で、「分かれ道」「岐路」という意味をもっています。
- ◆「クロスロード」ゲームの目的とは
災害が起こる前の備え、起こってからへの対応には、多くのジレンマを伴う重大な決断が含まれており、それらの対応を自らの問題として考える事やゲーム参加者の自分と違うさまざまな意見や価値観の存在に気づいたり、共有したりする事を目的としています。また人前で意見を述べることに慣れていない人でも、気軽に発言出来るようになっています。

【例1】

☐あなたは女子高の先生
☐生徒の発案で、水害の被災地へ片付けのボランティアに行くことになった。体操着で行くと決めていたのに集合場所にスカートで来た生徒がいる。
☐連れていく？

YES
連れていく

NO
連れていかない

【例2】

☐あなたは広報担当の課長
☐被災から10日後、赤十字職員が、義援金が1000万円集まり、交付金準備が出来つつあることを、広報してほしいと言ってきた。
☐直ちに広報する？

YES
広報する

NO
広報しない

《受講生感想》

- ◆普段想像もしなかった事案なので、考えるいい機会になった。
- ◆いざという時の判断難しかった。

《荏本教授講評》

- ◆色んな人がいて、色んな答えが出て、ビックリする事も多々あったと思う。自分になかった事を発見出来る良い機会。正解の答えがある訳ではない。議論する事が重要である。